
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2019年No.4 (2019.8)

- ・ 第70回全国七大学対校陸上競技大会
兼第30回全国七大学対校女子陸上競技大会(博多の森陸上競技場)
 - …男子総合4位、女子総合三連覇！
 - …佐貫(4)が女子100mで12'20、400mで56'57の大会記録を樹立し二冠、四連覇！
 - …加地(3)が男子400mHで二連覇！
 - …畠山(1)が女子砲丸投で11m03の部記録を樹立し優勝！
 - …松浦(4)が男子5000mで優勝！
 - …上條(4)が女子800mで優勝！
 - ・ 第31回北日本学生陸上競技対校選手権大会
 - …栗原(M2)が女子10000mで35'14"79の部記録を更新し優勝！
-

・ 第70回全国七大学対校陸上競技大会 兼第30回全国七大学対校女子陸上競技大会	2～14ページ
・ 第31回北日本学生陸上競技対校選手権大会	15ページ
・ OB・OG戦のお知らせ	15ページ
・ 自己記録更新者一覧	16ページ
・ 今後の予定	16ページ
・ 編集後記	16ページ

残暑厳しき折、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、8月3~4日に行われました第70回全国七大学陸上競技大会兼第30回全国七大学女子陸上競技大会の結果をお伝え致します。

◎第70回全国七大学陸上競技大会兼第30回全国七大学女子陸上競技大会(8/3~4)

・・博多の森陸上競技場(福岡)・・

二日間、強い日差しが照りつける厳しい暑さのなかで行われました。男子は昨年より順位を1つ下げて4位、女子は昨年に引き続き、三連覇を達成しました。今大会では女子砲丸投で部記録が樹立されました。また、女子100m・400mで佐貫(4)が二冠、四連覇を、男子400mHで加地(3)が二連覇を達成するなど、東北大選手の活躍が目立ちました。主将・女子主将の挨拶と対校戦各選手の様子を紹介します。

・男子総合結果

順位	大学	得点
1位	京都大学	135点
2位	大阪大学	83点
3位	東京大学	59点
4位	東北大学	43点 (T:14点(5) F:29点(5))
5位	名古屋大学	42点
6位	北海道大学	37点
7位	九州大学	21点

・女子総合結果

順位	大学	得点
1位	東北大学	24点 (T:20点(1) F:4点(4))
2位	大阪大学	24点
3位	名古屋大学	13点
4位	北海道大学	12点
5位	東京大学	7点
6位	京都大学	5点
7位	九州大学	1点

●主将、女子主将より

～主将挨拶～

今年度の七大戦は全体4位となりました。目標としていた優勝には遠く、実力差を見せつけられることとなりました。またチーム全体としては万全なコンディションでなかった選手も少なくありませんでした。七大戦の後、優勝した京都大学からシーズンの最大目標が関西インカレである、ということを知りました。東北大学でも同じことが重要だと考えています。今シーズン通して私が言い続けてきたことですが、地区インカレ、全日本インカレ、27大学対校戦等の七大戦以外の目標を持つ部員が尊重される雰囲気が重要です。逆説的ですが七大戦以外の個々の目標が成熟することで、七大戦に向けた戦力も高まっていきます。次期主将の芦田はシーズンを通して様々な大会で活躍する、強く、成熟したチーム作りを目指して欲しいと思います。

最後になりますが、他方面で支えてくださっているOB・OGの皆様には厚く感謝申し上げます。今後は新主将芦田を中心に、東北大学陸上競技部がこれからも成長していけるよう尽力いたしますので、今後とも変わらぬご声援をいただければ幸いです。

東北大学陸上競技部 前主将 鈴木景

～女子主将挨拶～

今年度の七大戦では2位の大阪大学と同点、優勝種目数の差で優勝、三連覇を達成しました。前回のOB・OG通信や壮行会などで話していた通り、かなり厳しい戦いになりました。そのような中で東北大学の選手達は予想得点を取りこぼすことなく取れ、特に800m・3000mでは実力以上に得点できたため、今回の優勝につながったと思います。また、他大のエントリー変更等にも助けられました。しかし、今回得点を取った選手が少なかったことや得点の多くが4年生によるものだったこともあり、今後のチームの課題として、七大戦レベルの大会で点数を取れる選手が複数育つ環境が必要なのではないかと思います。

次期女子主将の泉屋には七大戦四連覇だけでなく、インカレで活躍したり、全カレに複数人出られることができる強いチームを作っていくって欲しいと思います。

最後になりますが、日頃からご支援OB・OGの方々には非常に感謝しております。今回の七大戦でも多くのOB・OGの皆さんに足を運んでいただきました。今後とも変わらぬご支援よろしくお願いたします。

東北大学陸上競技部 前女子主将 佐貫有彩

●女子の優勝は東北大学のWEBサイトにて紹介されました。

第58回七大戦で学友会陸上競技部女子が優勝しました

2019年8月8日 09:00 | ニュース

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2019/08/news20190808-01.html>

●七大戦各競技を振り返って

☆トラック

男子 100m 予選

1組5着 上村尅之(2) 11.17(+0.3)

スタートの出だしは良かったが加速がうまくいかずトップスピードも上がらずそのままフィニッシュ。

2組6着 平井景梧(4)11.32(0.1)

スタートから十分に加速に乗れず、中盤以降も離され6着でゴール。

3組2着 芦田周平(3) 10.89(-1.8)q

スタートは決まったがその後伸びなかった。2着でゴール。

男子 100m 決勝

4位 芦田周平(3) 10.89(+0.9)

スタートはうまくいったものの、その後減速し4着でゴール。

女子 100m 予選

1組1着 佐貫有彩(4) 12.62(-0.4)q

スタートでやや遅れる。30m程で先頭に立ち、そのまま余裕持って1着でゴール。

女子 100m 決勝

1位 佐貫有彩(4) 12.20(-0.7)

遅れずにスタートする。50m程で抜け出し、徐々に差をつけ1着でゴール。



▲1着でゴールする佐貫(4)

男子 200m 予選

1組4着 八巻隼人(3) 22.25(+1.6)

スタートは出遅れる。後半少し伸びたが挽回できず4着でゴール。

2組6着 上村尠之(2) 22.32(+2.2)

前半の100mであまりスピードが出ず差が生まれ後半も差が縮まらずそのままフィニッシュ。

3組2着 芦田周平(3) 21.96(+1.3)q

後半体力が持たず減速し2着でゴール。

男子 200m 決勝

6位 芦田周平(3) 22.19(-1.0)

カーブをうまく回れず体力も持たなかったため6位でゴール。



▲男子 200m 決勝

男子 400m 予選

1組7着 片桐大智(2) 52.05

前半からスピードを出し200の通過まではタイムは良かった。しかし、その後スピードの出し過ぎや暑さの影響などがあり急激に減速し、7着でゴール。

2組3着 佐藤千仁(1) 50.24

スタートから動きにキレがみられず、ラストの切り替えもなかった。力尽き3着。

3組4着 八巻隼人(3) 49.53q

スタートからバックストレートにかけてゆったり加速、余力を残してホームストレートに入り時計を見ながら予選突破。

男子 400m 決勝

8位 八巻隼人(3) 50.11

スタートしてゴール。8位。

女子 400m 予選

1組5着 柄澤菜々美(3) 1.06.59q

スタート後すぐ内の選手に抜かれ、外2人の計3人に前半から置いていかれる。向風の直線を抜けると残り2人を追う。300m地点でほぼ横並び、ピッチは落とさず1人は抜き去るものの終盤50m程の伸びに欠け、少々差を広げられて5着でゴール。

2組1着 佐貫有彩(4) 59.48

5レーンからスタート。150m付近で前の二人を抜かす。その後は徐々に後続と差を広げ、1着でフィニッシュ。

女子 400m 決勝

1位 佐貫有彩(4) 56.57

7レーンからスタート。バックストレートで外レーンの二人を捕らえる。一つ内の阪大の選手とほぼ同時に200mを通過する。300mから徐々に差を広げ、1秒差程つけ1位でゴール。

男子 800m 予選

1組3着 谷口尚大(3) 1.55.24

スタート直後から九大の選手が飛び出し、5mほどあけ第二集団につく。400m時点で第二集団先頭に立つ。550m時点で名大、京大の選手に抜かされ、そのまま3着でゴール。

2組6着 宇梶和希(4) 2.02.14

周囲よりやや早めにブレイクし、2番手につく、350mあたりで阪大の選手に前に出られてコースを防がれ、400mからのペース変化に対応できなかった。ラスト300mからもペースを上げられず6着でゴール

3組5着 川島 啓(3) 1.59.95

8レーンからスタートし、1周目57秒で通過。その後は北大の林先頭に59で通過。600m手前で北大林、京大中尾、東大小野が前に出た。そのまま小野、林、中尾の順にゴール。qは3組目3着までだった。

女子 800m 決勝

1位 上條麻奈(4) 2.17.65

スタートから先頭に出た。そのままレースを進め、残り100m付近で前に出られるも、最後まで競り合い1位でゴールした。

3位 小川明音(2) 2.18.91

ブレイク後は5番手に着く。5人の集団のまま700mを通過し、直線で2人を追い越し3位でゴール。



▲女子 800m 決勝

男子 1500m 決勝

7位 村松兼志(3) 3.59.52

スタートして先頭集団のやや前方について走る。一周目は64秒で通過。1000mまでは集団の中でほとんどイーブンペースで走る。ここで集団が2つに別れて、10人になった先頭集団につく。ラスト200mで5番手に上がるが最後の直線で2人に抜かれ7位でフィニッシュ。

16位 立野佑太(4) 4.09.02

格上が多く、最初から積極的に攻めた。スタートから800mまでは3番手あたりの好位置につけたが、動きがかなり悪くズルズルと下がってしまい16位でゴール。

17位 三浦慧士(3) 4.10.42

スタート後先頭に出るがその後は他選手に追い越され17位でゴール。

女子 3000m 決勝

2位 上條麻奈(4) 10.37.20

7位 加藤ひより(3) 11.32.52

上條はスタートから2位集団の中でレースを進めた。加藤はスタート後集団後方に付き、集団がばらけると10位の選手に付いた。上條は2位集団の3人でレースを展開し、加藤は1000m3'52で通過後徐々に集団のペースが落ち、2000m7'49で通過。上條は残り250m付近で仕掛け、後続の選手に追い

上げられるも2着でゴール。加藤は残り1200mで前に出て4人抜き、7着でゴール。

男子 5000m 決勝

1位 松浦崇之(4) 14.57.07

20位 田沼 怜(3) 17.56.89

21位 立野佑太(4) 18.40.61

スタート直後松浦が先頭に出て、第1集団を引っ張った。立野と田沼は第2集団でレースを進めた。2000mを6'02、3000mを9'09で通過した。立野は1400m付近で、田沼は2000m付近で集団についていけなくなった。3200m手前の給水地点で松浦と2位の選手の差が少し空いて、そこで松浦がロングスパートをかけて、後続を引き離し優勝した。立野と田沼は終盤暑さのせいかなり苦しい走りとなり、20着、21着でゴールした。



▲優勝した松浦(4)

男子 110mH 予選

1組 2着 鈴木健大(3) 15.27(-0.6)

スタートで先行したが1、2台目と連続でハードルに接触し加速しきれず。途中後続に追いつかれるも後半スピードを維持して、10台目後に少しリードし、2着でゴール。

2組 6着 大場誠斗(1) 17.44(-1.5)

他の選手とアプローチの時点で離された。さらに焦りからかハードリングで抜き足を何度もぶつけてスピードを落とし、9、10台目のインターバルは5歩となり最下位。

3組 3着 羽根田佑真(4) 15.64(-0.4)

スタートが一番速かった。1台目を抜けて阪大の14秒台の選手には先行されるも2

番目につける。しかしインターバルの走りにいまいちキレがなく、8 台目で後ろから京大の選手に抜かされると、そのまま少しずつ離され、3 着ゴール。

男子 110mH 決勝

4 位 鈴木健大(3) 15.24(-1.2)

スタートは悪くなかったが、またも 1 台目で接触。先頭 2 人から離され、3 位争いとなった。中盤、リズムに乗れず一時は 5 位に落ちるが、後半ミスなく走り、順位を上げたが 3 位には届かず 4 位でフィニッシュ。



▲ハードルを跳ぶ鈴木

女子 100mH 決勝

3 位 泉屋咲月(3) 16.07(-1.1)

スタートで大きく出遅れ、1 台目で十分に加速ができていなかった。中盤でやや立て直すが、後半足が流れ苦しいハードリングに。前と差を詰めることができずそのまま 3 位でゴール。

7 位 佐貫有彩(4) 19.13(-1.1)

スタートで出遅れる。隣の名大にやや遅れる形で 6 台目まで通過。7 台目の抜き足でハードルに引っ掛け、8 台目でリード足をぶつけ転倒。7 位でゴールした。

男子 400mH 予選

1 組 1 着 加地拓弥(3) 55.28

スタートして 1 台目のハードリングを完璧に決め、バックストレートもリラックスしながらも良いリズムで跳びリードを広げる。カーブに入ってから歩数を増やし、スピードを落とすが追従を許さずに 8 台目ま

で跳び終える。9、10 台目はさらに歩数を増やし、周りを見ながら流してフィニッシュ。1 着で決勝に進出。

2 組 1 着 井戸端佑樹(3) 55.82

スタートから順調に加速し、バックストレートで若干ながらトップ。6 台目で普段より 1 歩減らしたことでこの区間でリードをとり、ホームストレートに帰ってきた時点で大幅にリードし、あとは流して余裕の 1 着でゴール。

3 組 2 着 二ノ神遼(2) 55.80

前半でスピードに乗れず、他の選手に離されていく。200m を超えてから徐々に順位を上げ、10 台目を超えてからのスプリント勝負で 1 人かわして 2 着。決勝進出。

男子 400mH 決勝

1 位 加地拓弥(3) 52.42

1 台目でやや浮いてしまうがカーブでしっかり加速し、向かい風ながらもスピードを維持したままバックストレートで周りを引き離していく。6 台目の歩数切替え時もしっかり刻み、スピードを殺さずにカーブを抜け、ホームストレートに入る。しかし、10 台目の前で疲労と向かい風に耐えられず、跳ぶ直前で歩数を増やしブレーキ。それでもラスト 40m 踏ん張り 1 位でフィニッシュ。

3 位 井戸端佑樹(3) 54.93

スタートはゆっくり。バックストレートで向かい風だったため普段よりスピードは出ないが、予選同様 6 台目で加速し、そのまま 9 台目まで 2 位を維持。前半の向かい風と暑さもあったのか、その後失速し、1 人に抜かれるも粘って 3 位でゴール。

7 位 二ノ神遼(2) 56.90

前半からスピードを上げていくが余計に力みが見える。予選の疲れもあって 5 台目以降失速し、得点争いに置いていかれる。ラストで 1 つだけ順位を上げ 7 位。得点獲得とはならなかった。

男子 3000mSC 決勝

10位 木村 秀(3) 9.48.70

12位 松館 快(2) 10.03.65

17位 井上大輝(1) 10.20.91

井上が先頭集団に付いていき、1000mを3'08で通過。木村と松館は集団にはつかず3'13で通過。1400m付近で井上は集団にはついていけなくなった。木村と松館は徐々に追い上げ、集団に追いついた。木村はラスト1000mも落ちず、10位でゴール。松館はラスト1000mで切り替えられず12位、井上は後半苦しい走りとなり17位。

男子 5000mW 決勝

5位 泉 健太(2) 21.55.40

10位 山岸忠相(2) 25.13.89

DNF 寺島智春(3)

気温30度を超える中でのレース。序盤はややスローペースで展開し、寺島は先頭集団の真ん中、泉は先頭集団の一番後ろ、山岸はその後ろでレースを進めた。2400mで阪大と東大の2選手が飛び出した。一度は30mほど開いたが、寺島と京大の選手が懸命に追い、3600mまでは優勝射程圏内。しかし前の二選手はその後ハイペースを展開し、残りの選手は突き放された。寺島は4600m付近から大きく崩れ、4750mで途中棄権となった。泉は終始入賞争いを繰り広げ、酷暑の中UBに近いタイムで6番目にゴールし、失格による繰り上がりで5位入賞と健闘した。山岸は後半ペースダウンしたが、最後まで懸命な歩きを見せ10位となった。



▲5000mW 決勝

男子 4×100mR 決勝

6位 42.08

倉田(4)-上村(2)-平井(4)-藤井大睦(1)

1走倉田は反応良くスタートする。内側大大、外側京大の中、離されることも詰め寄られることもなく順調に加速し、走りに力みがなく、そのまま流れ良く2走の上村へバトンパス。

2走は上村。スムーズにパスを受けた。走り出すもすぐに内側から抜かれて力み、後半も差を縮められずそのままバトンパス。

3走は平井。バトンはスムーズに渡ったが、順位を上げることが出来ずそのまま4走へ。

4走は藤井。6番手でバトンを受け取った。少し前に九大がいたが差を縮めるところができず、そのままフィニッシュ。

女子 4×100mR 決勝

2位 49.80

泉屋(3)-佐貫(4)-小川(2)-神谷(3)

2レーンからスタート。

1走泉屋は50m程で一つ内の東大を抜かし、前の大学との差を詰めてバトンパス。

2走佐貫は外レーンの九大、京大を抜かし、やや詰まってバトンパス。

3走小川は大きなストライドで徐々に前の選手と差を詰めていき、名大を抜かす。全体の2番手でバトンをつなぐ。

4走神谷は1位の阪大の選手にやや引き離されるも懸命の走りをし、2位でゴール。

男子 4×400mR 決勝

4位 3.19.25

佐藤千(1)-片桐(2)-羽根田(4)-加地(3)

1走は佐藤千。前半は攻めの姿勢で200mまで上位についていたが、得意の後半で伸びてこなかった。4番手付近でバトンパス。

2走は片桐。ブレイクしてから勢いのある走りで一気に3番手に追いつくが、ラスト100mで引き離され、後続に追いつかれてしまう。5番手でバトンパス。

3走は羽根田。前半は4番手の背中にぴったりと付き、そのまま順調に3番手との距離を縮めていく。ラスト100mでスパートをかけ、1人抜かして3番手とほぼ同時にバトンパス。

4走は加地。前半から果敢に攻めていき、100mを過ぎたところで3番手を抜く。しかしその後は伸びが無く、ぴったりと後ろに付かれてしまい、ラストのスパート勝負で競り負け無念の4位フィニッシュ。



▲ 3走の羽田(4)

☆フィールド

男子 走高跳 決勝

12位 渡辺智輝(4) 1m85

1m80: 曲走が若干直線的になった上にピークが奥にずれたが余裕を持ってクリア。

1m85: 曲走への切り替えで詰まったがそのまま突っ込んだ。踏切は良く1発でクリア。

1m90: 1,2回目は緊張で曲走への入りがぎこちなくなる、テンポアップができず曲走で潰れる、などして上手く踏み切れず失敗。3回目はスピードを出しすぎてバーをくぐってしまった。緊張しても1m85での動きを再現できていれば跳べたであろう。

松岡恭平(4) NM

1m75から始めた。1本目、踏切時にバー方向に身体が倒れていたため、踏切に力が入らず失敗。2本目、曲走からの入りと後傾することをしっかり意識したが、高さが出なかった。3本目、曲走の走り方などを改善

したが、跳び急いで倒れこむのが早かった。踏切時に力をしっかり伝えられていないことや助走が安定しないことが課題である。

14位 高橋潤(3) 1m85

予想よりも体が動いたため、助走を普段よりも2足長長くとった。

1m75: 1,2本目と流れてしまい、ピークが奥にずれて失敗するも、3本目で踏切により重点を置き、何とかクリア。

1m80: 1本目はブロックがうまくいかず失敗。2本目で再度踏切を意識してクリア。

1m85: 1,2本目共に直線でスピード出しすぎた結果、踏切が潰れて失敗。3本目は直線でスピードをなるべく抑えることを意識し、踏切も上手く行ってクリア。

1m90: 1本目は曲線でスピードがなく、2本目は前半で本数を重ね過ぎた疲れからか、スピードに足が耐えられず失敗。3本目で再び直線を抑えることを意識し、スピードのある跳躍ができたが、お尻がかすって失敗。あと一步でPBを出せなかったのが心残りだが、ここ1ヶ月助走スピードを生かせる跳躍を目指して試行錯誤した成果は出てきており、さらに磨きをかけていきたい。

女子 走高跳 決勝

8位 神谷真帆(3) 1m30

1m25からはじまり、公式練習よりもカーブを大きく回り込んだ。が、全て斜めに踏みこめなかったために、上の反発ではなくバーに対して斜めに突っ込む形で越えることになり、跳躍後マットからはみ出る寸前まで斜めに体が持っていかれた。

男子 棒高跳 決勝

5位 赤星栄治(3) 4m20

練習が積めていなかったので3m80から始めた。前日の練習で15ft145lbsのポールが折れていたため15ft150lbsを使ったが、うまく走れず1,2本目はしっかりと空中動作につなげられなかった。3本目でクリア。

4m、4m10は1本目でクリア。

4m20 から痛みもあり 1、2 本目は走れず駆け抜けた。3 本目で空中動作につなげクリア。この時点で 5 位以上は確定しアドレナリンが切れて走れなくなったので空中動作につなげられず終了した。

状態は最悪だったが、もともとしっかり走っていたわけではないので記録はあまり変わらなかった。今回の反省は、まず暑さに弱い、技術面ではセット遅れ、空中で肩が落ちない、走れていない、ポールの下ろしがスムーズでなかった、安定していない等、多かった。今後の課題は、まず骨を治し、継続して練習できる体を作ることである。その後しっかり課題を修正し来シーズン頑張ってもらいたい。

4 位 佐々木玲(2) 4m20

試技練習の調子を見て 4m からスタート。1、2 本目と足がつりそうで走れずに落とした。気持ちを直し 3 本目はクリア。

そこから勢いに乗り 4m10 を 1 本目でクリア。試技順 1 つ前の赤星さんのクリアがいい刺激になった。

4m20 に上がった時点で 9 人残っており、この高さが得点のボーダーとなると考え一本目に集中して臨んだ。立ちがぴったりでクリアでき今日一番良い跳躍であった。4m20 終了時点で 5 位以上が確定した。

4m30 の 1 本目はたちが弱かったが浮きは十分で狙えるなという印象であった。が、2 本目で立ちで、3 本目に握りを 1 つ上げたがこれも立ちだった。

結果的にポールチェンジが正解であった。暑い中、七大戦の雰囲気を存分に感じ、楽しんで試合ができ自分の力は出し切れた。PB こそ出せなかったが主にメンタル面で多くのことを得た。技術はまだまだなので跳躍練を重ねていくべきである。

11 位 佐藤泰河(3) 3m80

前日のオープンで 3m80 を跳んでいたのが 3m60 から始め 1 本目でクリアした。

3m80 の 1 本目は足が近すぎて、不完全な振り上げになり落とした。柔らかいポールなので絶対立つと思って 2 本目は思い切って振り上げてクリアした。

3m90 の 1 本目は、突っ込みは最近の中では良かったが、空中が甘く落とした。2 本目は、空中は良かったが突っ込みが甘く落とした。この二本の良い突っ込みと空中をすればクリアできると思い 3 本目に挑んだが、空中で余裕がなく浮きが出ずに失敗。

この試合での空中動作は腰が入らず、ポールに添えていないのでバーを落とすときは必ず足で落としていた。浮きがあっても空中動作が甘いのでこれを今後の課題としている。七大の独特の雰囲気の中 PB を更新して得点に絡みたかったが、一からやり直して来年借りを返したい。



▲助走をする赤星(3)

男子 走幅跳 決勝

11 位 諸田直樹(2) 6m57(-0.6)

1 本目 6m57cm (-0.6)

足の痛みから全く助走スピードが上がらず、空中動作にバラツキが出た。高さだけが出た跳躍だった。

2 本目 パス

1 本目で足を痛め、3 本目に備えてパス。
3 本目 6m39cm(-0.6)

テーピングでガチガチに固定した。いよいよスピードが出ず、踏切と空中動作でどこまでいけるかの勝負になった。よく途中で肉離れせずに踏み切れたと思う。1 本目と同じくただ高く跳んだが、勢いがなく距

離に繋がらなかった。

記録以前にまず陸上競技者としての大前提として、思いっきり走れるようになる必要がある。立ち幅跳びなら結構手応えがある事だけが心の支えである。

16位 西川亜連(1) 6m11cm(-0.1)

1本目 F

気温が高かったためか身体の調子がとてもよく、いつもより走っていたため足合わせに苦戦した。15cmほどファールし、跳躍も潰れ気味だった。

2本目 F

1本目を踏まえて助走距離を25cm伸ばした。しかし、3、4cmほどファールした。

1本目ほど助走スピードは出なかったが、距離がでて着地も綺麗にできた。

3本目 6m11cm(-0.1)

ファールしないように助走距離を30cm伸ばした。踏切はほぼぴったり。助走もうまくスピードに乗れたが、踏切後空中でバランスを崩し、先に手をついてしまい、もったいない着地になった。

今大会では足合わせに苦労した。助走のリズムを確認し、毎回同じリズムで走れるようにしたい。跳躍技術も未熟で、空中動作、着地がひどかったので改善したい。

17位 高安弘人(2) 5m90cm(-0.3)

1本目 F

体の調子・気候共によく、助走はいつもより走れた。しかし、足合わせが上手くいかず15cmほどファールした。空中動作も体の軸がブレてしまい着地まで繋げることができなかった。

2本目 F

1本目より20cmほど助走距離を伸ばしたが、踏切5歩手前で踏切を意識して減速してしまった。踏切も逆足になってしまい、跳躍することができなかった。

3本目 5m90cm(-0.3)

2本目より少し下げて助走を始めた。踏

切も最後の一本だったのでできるだけ意識しないようにした。ファールしなかったものの、2本目同様逆足で跳んでしまった。空中動作も満足のいくものではなく、ダレてしまった。

今大会では足合わせに苦戦した。体自体はよく動いていたので、今後足合わせが上手くいくよう走りを意識して練習したい。また、空中でのブレがひどいので改善していきたい。

女子 走幅跳 決勝

7位 佐貫有彩(4) 5m09(-0.2)

跳ぶ5歩前あたりから、板を意識しすぎたのかストライドが小さくなってしまい、かなり減速した。板の手前で踏み切り5m09。その後、別競技で転倒したため、残りの試技は全て棄権した。

8位 神谷真帆(3) 4m72(-0.1)

助走が合わず徐々に助走距離を縮めていった。1本目は1番体が浮いて跳んだように感じたが、他は1本目以上に砂場に突き刺さる着地になってしまった。また、地面からの反発が上手く貰えず潰れてしまった。

男子 三段跳 決勝

16位 佐藤大斗(2) 13m01(+1.8)

調子が良くいつもより走っていたこともあり、試技前の足合わせは安定しなかった。本来の助走距離から1m伸ばして競技開始。

1本目 13m01(+1.8)

助走での動きが無駄に大きく、力んだ跳躍となった。緊張から体を上手く動かせず、ステップ・ジャンプは潰れ気味だった。

2本目 F

助走距離を縮め、ストライドを狭める意識で走った。動きが小さくなりすぎて踏切前の2、3歩で間延びし、ホップする際後傾した。タメを作る十分な高さのないホップで、ステップに繋がれず失敗。

3本目 F

ファールだが、この日1番良い跳躍であ

った。1、2本目の助走面での問題点を修正し、着地まで繋げられた。ステップが低く、ジャンプは潰れ気味だった。

12位 大坂天心(2) 13m53(+1.3)

1本目 不明

衝撃に耐えられない事を恐れてポップの後足を出せなかった。今までは一応記録が残る事が多かったが、スピードが出た事もあり、力を入れるタイミングがかなり遅かった。失敗跳躍としても着地動作に入らなかったのは反省点である。

2本目 13m53(+1.3)

1本目の反省から足を意識して出す努力は見られた。タイミングはまだ不十分で前回転がかかっていた。そのためステップでタメが作れなかった。強引に着地に持っていったが思いの外まとまった跳躍になった。

3本目 13m39(+2.6)

残るには記録を伸ばす必要があり、攻めた跳躍になった。記録を狙いながらもリラックスして臨めた。ホップのリードレッグをかなり上から搔きにいったがまだ攻められるように感じた。ジャンプの入りまでは3本で1番良かった。ジャンプはリードレッグを高い位置で持ってくる事ができた点で良かったが、突っ張った接地になりバランスを崩した。

試合中に修正する力は付いてきているが1本目の質が良くない。以前から挙げているように全助練を増やす事、ドリルで足のさばき方を身体に覚えさせる事が必要である。伸び代は感じられるので1つずつ丁寧に改善してほしい。

15位 大木島壮(1) 13m11(+2.1)

1本目 13m11(+2.1)

今シーズン1番走っていたため1本目から記録を出す意識で跳躍したが、全体的に小さい跳躍になった。ホップでもっと前へ跳んでいたら、ステップ、ジャンプに勢いがつきより記録が出たと思われる。

2本目 12m76(+1.5)

1本目の反省を生かして、より前へ跳ぶことを意識した。ホップ、ステップはPBを出した時と同じくらい跳べたが、ジャンプの接地の際にバランスを崩し勢いを殺してしまったため、記録が落ちた。

3本目 12m66(+0.5)

助走が間延びしたため、最後に足が合わず板に合わせる踏切となり、ホップから悪い跳躍になった。ファール覚悟でより良い跳躍をした方が今後のためであると同時に、もっと助走の安定感を高めたいと思った。

2本目のホップ、ステップの感覚は良かったので、今後の練習、大会でこの感覚を持ち、かつジャンプまで勢いを持った跳躍をすればSBやPBの更新も期待できる。

男子 砲丸投 決勝

14位 宮本貴広(3) 9m16

1から3投目まで下半身を使えず手投げになった。

3位 大野誠尚(2) 12m43

1投目は置きにいき、11m程度。

2投目はグライドのスピードを上げ11m91とPB。

3投目は投げの直前まで体を残すことを意識し12m43とPB。

4投目以降はグライドのスピードをさらにあげて投げたが全てファール。今大会でわかったことは、下半身の筋力不足であった。しばらく筋トレにも励もうと思う。

女子 砲丸投 決勝

1位 畠山千果(1) 11m03 部記録

1投目は記録を残すためにゆっくりとした動作で投げたが、目線が残らず間延びしてしまいファール。

2投目はグライドの時に上下してしまい、力が分散し、砲丸も安定しない投げだった。

3投目は比較的上下動が少なく、最後の突きだしも速くできた。この日の最高記録であったが、グライドと投げの連動が上手

くいっておらず、そこを改善すればもっと距離を伸ばせたと思われる。

4～6投目はファールを恐れずにスピードをつけて投げることで記録を伸ばそうと試みたが、投げ急いでしまい力が上手く伝えられず記録を伸ばすことはできなかった。

男子 円盤投 決勝

11位 嘉津山拓登(3) 28m37

1投目はある程度置きに行った投げをして2投目から入りたかったが、力み過ぎ距離が出ずそのまま3投目まで流れた投げとなってしまった。

14位 宮本貴広(3) 20m34

1から3投目までまっすぐ飛ばなかった。練習不足が目立った。

5位 大野誠尚(2) 32m16

1投目は軽く置きにいき、31m。2～4投目はターンのスピードを上げることを意識したが軸が傾き記録は伸びなかった。5投目はリラックスして投げることができ32m。6投目は体がそれて記録は伸びなかった。総じてターンの技術不足が顕著であった。

男子 ハンマー投 決勝

8位 宮本貴広(3) 34m58

サークルが回り辛かった。1投目はスピードが出ないまま投げて記録を残した。2～4投目まではスピードを上げようとしたが上手くはまらなかった。5投目はリリースが決まったかと思ったら伸びなかった。6投目は力みすぎて30mほどしか行かなかったので前からでた。

男子 やり投 決勝

4位 新出悠介(4) 53m13

まず始めに、遠方からお越しくくださった院生やOB・OGの方々、現地には来れなかったものの速報等で今年の七大を気にかけてくださった全ての方に感謝申し上げます。今回の競技は練習投擲の段階から調子が良く、良いイメージを持った状態で臨むことができました。

1投目は練習投擲通りの力みの無い投げになり、52m89でPBを更新しました。

2投目は力んでしまいやりが吹き上がったため、49m74でした。

3投目はやりが吹き上がらないよう角度を低く抑え過ぎたため、51m16でした。この時点で3位。ベストエイトに進みました。

4投目は若干の力みが入り、50m98でした。

5投目はやりの角度や投げのタイミングが上手く合い、53m13でPBを更新しました。

6投目は上体が突っ込んでしまい、50m26でした。結果としてはPBを1m83更新し、4位でした。



▲入賞した新出

7位 秋場湧太(2) 50m60

1投目はやり先が上がり、吹き上がってしまったため、2投目は持ち手を高くすることを意識しての投てきで50m60。

3投目以降は助走距離とスピードを上げたが、ブロッキングと、体の連動がうまくいかず記録は伸ばせなかった。3投目以降は攻めの投擲だったが、速い助走での投げをしていなかったため、投げがバラバラになった。助走速度を上げた状態での練習や、力がうまく伝わるポジションを見つける練習が必要である。

9位 大場誠斗(1) 47m59

1投目は力んで手投げになり約40m。1投目の力みで肩を痛めたので2投目は修正しつつ軽く投げ47m強。2投目でいい感じにリラックスできていたので3投目も同じよう

に力を抜いて投げようとしたがラストクロスでやり先がぶれ、2投目とほぼ同じ記録。投てきを行う度修正していった所は良かったが1投目である程度の記録を残していれば残りの投てきは思い切って投げれたはず。

女子 やり投 決勝

4位 畠山千果(1) 30m02

1投目は、やりが体から離れて力が上手く伝わらなかった。2投目は、投げる瞬間

のスピードは上がったが、1投目同様やりが体から離れてしまった。3投目はこの日の最高記録であり、やりを体からあまり離さず真っ直ぐ力を加えられた。4～6投目は、力を入れるタイミングを掴むことは出来たが、動作のスピードに頼った投げだった。足や腰など全身を上手く使って投げればさらに記録が伸びると思われる。

◎応援に来てくださった先輩方(敬称略)

稲見文雄、柴田清、大浦譲、遠藤久則、真山隆徳、吉田真人、千葉雄司、吉川雄朗、橋本拓也、八木洋光、草野深尋、田附遼太、田中直樹、佐藤洋介、高橋慧伍、南雲信之介、安西聡、小幡卓哉、工藤航平、熊谷駿、佐藤文哉、高橋仙一、高橋拓実、出口武志、早坂謙児、本間涼介、大塚祐貴、大衝竜太、佐藤勝成、津嶋優希、藤井佳祐、森涉、森野太介、渡邊裕一郎、荒田啓輔、飯田夏生、今泉裕真、岩波発彦、川口航汰、木曾真吾、佐々木千肅、佐藤宏夢、根谷温、藤井大輝、古川楓、山下一也、

今年も多くのOB・OGの方々が応援に来て下さいました。全員のお名前を把握しきれず、掲載出来なかった方がいらっしゃいましたら申し訳ありません。また、たくさんの差し入れを頂き、多くの部員が助けられました。二日間、本当にありがとうございました。



▲集合写真

第7回全国七大学対抗陸上競技大会第2回全国七大学対抗女子陸上競技大会 東平尾公園博多の森陸上競技場 2/9

日付	種目名	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位							
8月4日	男子100m 風+0.9	加藤 寿昂③ 京大	10.62	平松 力希② 大工大	10.63	井上 昂② 京大	10.64	戸田 周平② 京大	10.89	松本 雄志郎④ 大工大	10.91	新海 涼司④ 京大	10.94	田中 大智② 京大	10.97	本田 健一郎④ 大工大	10.97	
8月4日	男子200m 風+1.0	平松 力希② 大工大	21.52	井上 昂② 京大	21.87	加藤 寿昂③ 京大	21.88	大西 淳矢④ 大工大	21.89	髯高 健吾② 京大	22.12	戸田 周平② 京大	22.19	田中 大智② 京大	22.30	香月 翔太① 京大	22.33	
8月4日	男子400m	小谷 哲希④ 京大	47.54	浅井 良② 京大	47.74	志賀 颯② 大工大	48.93	長 重吾② 大工大	49.17	藤 啓太② 京大	49.45	寺前 凌希④ 京大	49.62	小濱 幹太④ 京大	49.67	八巻 聖人② 京大	50.11	
8月4日	男子800m	木村 悠② 京大	1:55.07	土屋 雅智彦④ 京大	1:55.23	小野 康介④ 京大	1:56.09	中村 光志② 京大	1:57.75	中尾 友哉② 京大	1:57.91	森 健人④ 京大	1:58.05	林 亮佑① 京大	1:58.08	谷口 尚大② 京大	DNS	
8月4日	男子1500m	木村 悠② 京大	3:57.20	金剛 航平④ 京大	3:58.04	清原 陸② 京大	3:58.11	酒井 洋明④ 京大	3:58.71	道間 聖② 京大	3:58.88	小川 瑞貴④ 京大	3:58.89	村松 康志② 京大	3:59.52	前田 裕也② 京大	4:00.80	
8月4日	男子5000m	松浦 蒼之④ 京大	14:57.07	徳田 哲史③ 京大	15:09.19	阿部 飛雄真④ 京大	15:11.31	清水 厚他② 京大	15:12.17	足立 舜② 京大	15:13.44	佐野 昌幸② 京大	15:14.16	塚本 亮明④ 京大	15:25.81	久田 隼人② 京大	15:28.82	
8月4日	男子10000m 風+1.2	仙石 樹希④ 大工大	14.96	小野 貴裕④ 京大	14.96	藤谷 拓磨① 京大	15.16	橋本 健太② 京大	15.24	永田 智幸② 京大	15.36	村上 凌② 京大	15.37	後藤 直哉② 京大	15.43	吉川 広祐④ 京大	DQ+T8	
8月4日	男子4000m	加地 拓弥③ 京大	52.42	長谷川 聖② 京大	54.77	井野 悠樹② 京大	54.93	田中 聖① 京大	55.04	酒井 良他② 京大	55.66	松田 光陽④ 京大	56.21	二ノ神 蓮② 京大	56.90	伊藤 悠太④ 京大	57.15	
8月4日	男子3000m	足立 舜② 京大	9:16.04	鹿山 康生④ 京大	9:20.26	塚本 亮明④ 京大	9:21.56	阿部 飛雄真④ 京大	9:31.61	森川 陽之② 京大	9:34.93	川瀬 晋寿② 京大	9:39.10	山本 一輝④ 京大	9:41.40	西村 桃太② 京大	9:46.53	
8月4日	男子5000m	後藤 寛平④ 京大	21:34.76	亀田 孝太郎④ 京大	21:35.29	橋本 智大② 京大	21:48.86	渡邊 蓮② 京大	21:49.44	泉 健太② 京大	21:55.40	橋本 崇弘② 京大	22:37.71	尾藤 文② 京大	22:55.44	富田 諒② 京大	23:20.49	
8月4日	男子4x100m	大工大学 松本 雄志郎④ 平松 力希② 大西 淳矢④ 本田 健一郎④	40.74 GR	東工大学 香月 翔太① 井上 昂② 平井 智史④ 髯高 健吾②	40.96	京大 森本 健太② 加藤 寿昂③ 田中 大智② 小野 貴裕④	41.08	京大 大内 慎也④ 新海 涼司④ 山本 悠生① 伊ヶ崎 一哉②	41.36	京大 執柄 翔輝② 奥 聡明② 高橋 駿② 藤村 紀康	41.95	京大 曾田 真樹④ 上村 魁之② 平井 崇悟④ 藤井 大雄①	42.08	京大 坂本 健太③ 安藤 貴典② 藤越 光輝① 白石 悠之④	42.48	京大 坂本 健太③ 安藤 貴典② 藤越 光輝① 白石 悠之④	42.48	
8月4日	男子4x400m	京大 小谷 哲希④ 藤田 雄大② 水野 康也④ 浅井 良②	3:14.92	大工大学 平松 力希② 新海 涼司④ 丸地 正人④ 松本 拓真②	3:15.43	京大 藤 啓太② 藤 啓太② 丸地 正人④ 小山 航希④	3:18.95	京大 佐藤 千心① 片桐 大智② 羽根田 他賢④ 加地 拓弥③	3:19.25	京大 川上 高輝② 末松 大輝② 田中 聖① 泉 孝太郎②	3:21.76	京大 岩崎 誠倫② 松田 光陽④ 西岡 健伸① 井上 昂②	3:23.26	京大 安藤 貴典② 松木 大① 白井 祥② 山本 聖④	3:25.49	京大 安藤 貴典② 松木 大① 白井 祥② 山本 聖④	3:25.49	
トラック対抗得点	京大	8点	大工大	4点	京大	3点	京大	3点	京大	2点	京大	14点	京大	7点	京大	7点		
8月4日	男子走高跳	木村 友哉③ 大工大	2m07	羽田 克実② 大工大	2m04	北嶋 諒太郎④ 九州大	2m04	小山 航希④ 京大	2m01	山田 隼人② 京大	2m01	坂口 裕典② 京大	1m98	赤坂 健太③ 京大	1m96	新海 友駿② 京大	1m90	
8月4日	男子棒高跳	三宅 功翔④ 京大	4m60	山本 晋志樹④ 大工大	4m40	石崎 耀之介② 京大	4m30	佐々木 昂② 京大	4m20	赤星 栄治② 京大	4m20	栗川 泰輝② 京大	4m10	深野 俊介② 京大	4m10	北海道大 北海道大	4m00	
8月4日	男子走幅跳	木下 将一③ 大工大	7m26 (-0.1)	三宅 功翔④ 京大	7m25 (+1.3)	井内 光② 大工大	7m23 (-1.3)	渡辺 啓輝② 京大	7m17 (+0.5)	本郷 和弘④ 京大	7m02 (+0.3)	藤原 輝希② 京大	6m79 (0.0)	立崎 大樹④ 京大	6m75 (-1.8)	渡瀬 孔明④ 京大	6m73 (+1.2)	
8月4日	男子三段跳	三神 博志④ 京大	15m08 (+1.6)	高橋 駿② 九州大	14m57 (+1.2)	渡辺 啓輝② 九州大	14m30 (+1.6)	星野 祐輝② 京大	14m22 (+2.7)	岩井 晋平② 京大	14m16 (+1.4)	尾原 正人② 京大	14m14 (+1.6)	西澤 寛平④ 京大	14m11 (+1.7)	五十嵐 昂登④ 京大	14m01 (+0.4)	
8月4日	男子砲丸投	中村 泰大③ 京大	13m61	真鍋 聡志① 京大	12m48	塚本 健太② 京大	12m43	藤田 雄山④ 京大	12m23	森田 崇史③ 京大	12m13	諏訪 雄山④ 九州大	11m87	松本 大輝② 九州大	11m67	大塚 隆寛② 京大	10m85	
8月4日	男子円盤投	大塚 悟希④ 京大	45m62	真鍋 聡志① 京大	36m05	塚本 健太② 京大	35m16	諏訪 雄山④ 九州大	34m91	大野 誠尚② 京大	32m16	松本 大輝② 九州大	31m70	山田 翔平② 大工大	31m04	堀 拓斗④ 京大	30m78	
8月4日	男子ハンマー投	三谷 圭希④ 京大	47m89	大塚 悟希④ 京大	45m84	立花 悠真② 京大	43m45	藤田 歩③ 京大	42m70	高本 健太② 京大	38m87	池田 駿雄④ 京大	36m29	山田 翔平② 大工大	35m64	宮本 貴広② 京大	34m58	
8月4日	男子やり投	澤田 剛② 京大	61m44	藤谷 雄大① 京大	54m44	真山 健士② 京大	53m48	新田 悠介④ 京大	53m13	松井 そら希④ 京大	52m31	山野 陽貴② 京大	51m89	秋葉 清太② 京大	50m60	森田 崇史③ 京大	49m10	
8月4日	フィールド対抗得点	京大	9点	大工大	3点	京大	2点	京大	2点	京大	14点	京大	14点	京大	11点	京大	2点	
対抗総合得点	京大	135点	大工大	83点	京大	50点	京大	40点	京大	14点	京大	14点	京大	14点	京大	11点	京大	2点

第7回全国七大学対抗陸上競技大会第3回全国七大学対抗女子陸上競技大会 東平尾公園博多の森陸上競技場 2/9

日付	種目名	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位						
8月4日	女子100m 風+0.7	佐賀 有彩④ 京大	12.20	内山 咲良④ 京大	12.56	尾崎 里帆② 北海道大	12.62	山崎 真奈④ 大工大	12.73	針間 未希② 大工大	12.96	吉田 有美香④ 京大	13.04	谷口 水樹④ 九州大	13.10	後藤 加奈④ 京大	13.32
8月4日	女子400m	佐賀 有彩④ 京大	56.57	野尻 真由② 大工大	57.87	廷安 美穂② 大工大	58.88	後藤 加奈④ 京大	59.70	大坂 桃子④ 北海道大	1:02.44	谷口 智海② 京大	1:03.15	渡辺 千遥④ 九州大	1:05.77	近藤 由梨② 京大	1:06.31
8月4日	女子800m	上條 麻奈④ 京大	2:17.65	野尻 真由② 大工大	2:17.65	小川 明香② 京大	2:18.91	西川 真悠② 京大	2:19.48	長谷川 詩歩④ 京大	2:21.65	島崎 温香② 京大	2:27.18	安藤 百香② 京大	2:31.48	田村 原佳② 京大	2:33.71
8月4日	女子3000m	三池 瑞衣④ 大工大	10:13.15	上條 麻奈④ 京大	10:37.20	斎藤 菜② 京大	10:37.55	小島 美月② 京大	10:39.90	藤本 のどか① 京大	11:12.00	藤本 涼② 京大	11:17.87	加藤 ひより③ 京大	11:32.52	小柳 真夏① 京大	11:39.62
8月4日	女子1000m	吉田 有美香④ 京大	14.96	山本 里紗④ 大工大	15.80	泉屋 咲月② 京大	16.07	原田 和典② 北海道大	16.58	花房 柚衣香② 京大	16.74	森下 那海② 北海道大	18.13	佐賀 有彩④ 京大	19.13	福田 早紀① 大工大	19.41
8月4日	女子4x100m	大工大学 針間 未希② 廷安 美穂② 山崎 真奈④ 野尻 真由②	48.72	大工大学 泉屋 咲月② 佐賀 有彩④ 小川 明香② 神谷 真帆②	49.80	京大 小池 里紗① 小林 はづき① 中村 友香① 吉田 有美香④	50.50	北海道大 松林 あかほ② 尾崎 里帆② 大坂 桃子④ 近藤 仁美②	51.71	京大 奥村 夏子② 後藤 加奈④ 花房 柚衣香② 西川 真悠②	51.90	九州大 米山 寧音① 谷口 水樹④ 岩本 法子④ 渡辺 千遥④	51.97	京大 岩本 法子④ 谷口 水樹④ 岩本 法子④ 阿田 梨子②	53.01	京大 花梨 真生① 内山 咲良④ 谷口 智海② 阿田 梨子②	53.01
トラック対抗得点	京大	2点	大工大	13点	京大	6点	北海道大	3点	京大	3点	京大	2点	九州大	0点	京大	0点	
8月4日	女子走高跳	中村 友香① 京大	1m59	山崎 真奈④ 大工大	1m56	福田 早紀① 大工大	1m56	内山 咲良④ 京大	1m53	藤田 友美② 京大	1m50	小西 泉月① 京大	1m50	西村 美梨② 京大	1m40	神谷 真帆② 京大	1m30
8月4日	女子走幅跳	尾崎 里帆② 北海道大	5m92 (+0.3)	内山 咲良④ 京大	5m63 (-0.3)	小林 はづき① 京大	5m62 (+1.0)	岩本 法子② 九州大	5m55 (-0.9)	増谷 優奈④ 大工大	5m38 (+1.1)	原田 和典② 北海道大	5m22 (-0.3)	佐賀 有彩④ 京大	5m09 (-0.1)	神谷 真帆② 京大	4m72 (-0.2)
8月4日	女子砲丸投	轟山 千果① 京大	11m03	千葉 沙也加② 北海道大	10m19	小西 杏佳③ 北海道大	9m70	水野 水貴② 京大	9m45	福井 優輝④ 京大	9m25	横松 和② 九州大	8m07	坂山 桃香① 大工大	8m07	小西 杏佳③ 北海道大	7m54
8月4日	女子やり投	水野 水貴② 京大	42m99	滝谷 美紀② 京大	36m89	赤坂 美花子② 北海道大	30m53	轟山 千果① 京大	30m02	小西 泉月① 京大	29m72	横松 和② 九州大	29m69	坂山 桃香① 大工大	26m26	小西 杏佳③ 北海道大	25m54
8月4日	フィールド対抗得点	北海道大	9点	京大	7点	大工大	5点	京大	4点	京大	4点	京大	3点	九州大	1点	京大	1点
対抗総合得点	京大	24点	大工大	24点	京大	13点	北海道大	12点	京大	7点	京大	5点	九州大	1点	京大	1点	

◎第41回北日本学生陸上競技対校選手権大会(7/19～22)・・札幌市円山公園

女子10000mで栗原(M2)が部記録を更新した他、東北大学からは多数の選手が入賞を果たしました。入賞した選手を紹介します。

種目	名前(学年)	順位	記録
男子200m	白鳥海知(5)	6位	21.79(+1.5)
男子400mH	加地拓弥(3)	4位	52.88
男子800m	荒田啓輔(M1)	4位	1.54.84
	松田将大(M1)	6位	1.58.00
男子1500m	松田将大(M1)	6位	4.03.25
男子5000m	松浦崇之(4)	1位	14.49.05
男子10000m	松浦崇之(4)	2位	31.08.31
男子10000mW	寺島智春(3)	1位	44.22.19
男子棒高跳	藤井大輝(M1)	5位	4m30
	佐々木玲(2)	6位	4m20
男子走高跳	山下一也(M1)	5位	2m05
女子5000m	栗原唯(M2)	2位	17.01.07
女子10000m	栗原唯(M2)	1位	35.14.79
女子10000mW	青木まひろ(2)	1位	56.08.49
女子走高跳	中村真璃子(5)	4位	1m60

◎OB・OG戦のお知らせ

今年もOB・OG戦を開催します。多くのOB・OGの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：10月19日(土) 8:30受付開始 9:45競技開始予定

場所：評定河原グラウンド

種目：100m 400m 1500m 走高跳 走幅跳 砲丸投 やり投 スウェーデンリレー

申込方法、申込期間、連絡先：別途案内申し上げます。

◎自己記録更新者一覧

- ・男子200m
岩波発彦(M1) 22"55(+1.4)(北日本IC)
白鳥海知(5) 21"73(+0.7)(北日本IC)
- ・男子400mH
加地拓哉(3) 52"50(北日本IC)
- ・男子400m
岩波 発彦(M1) 50"36(高松UD記録会)
- ・男子800m
高倉直幸(3) 1'59"58(日体大競技会)
荒田啓輔(M1) 1'53"26(仙台大記録会)

◎今後の予定

- ・9月12~15日 全日本インカレ …メモリアルセンター長良川競技場(岐阜)
- ・9月22~24日 国公立27大学対校戦 …上尾運動公園陸上競技場(埼玉)
- ・9月26日 全日・全女駅伝東北地区選考会 …北上総合運動公園陸上競技場(岩手)
- ・10月14日 出雲全日本大学選抜駅伝競走 …出雲市(島根)
- ・10月12~14日 東北学生陸上競技選手権大会 …県営あずま陸上競技場(福島)
- ・10月19日 OB・OG戦 …評定河原グラウンド

◎編集後記

今号からOB・OG通信担当となりました、牧野雅紘と申します。不慣れなところもあるとは思いますが、OB・OGの皆様には東北大学陸上競技部の活躍を余すことなく伝えていきたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

七大戦では、女子は三連覇を達成することができました。一方で、男子は総合4位と部の目標であった男女総合優勝は達成できませんでした。嬉しさと悔しさが混ざる状況ではありますが、長距離パートは全日・全女選考会を目標に、他パートは27大戦等の各種大会に向けて練習に励んでいます。主将・芦田周平、女子主将・泉屋咲月のもと、新たな体制で戦っていく東北大選手たちの活躍にご期待・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

文責 副務 牧野雅紘

東北大学陸上競技部三秀会
〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1
東北大学評定河原グラウンド内
hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp